

2021年2月1日

各位

日本 SMO 協会
会長 塚原 英樹

「新型コロナウイルス感染症ワクチン優先接種（最上位の接種順位）」についての
日本 SMO 協会としての考え

謹啓

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日本 SMO 協会の活動には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動における様々な支障、また、臨床現場で業務を行っている CRC（Clinical Research Coordinator）の方々の感染予防、感染拡大予防措置等、大変苦慮されているものと拝察致します。

さて、新型コロナウイルス感染症に係る予防接種については「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について（案）」（令和2年12月23日新型コロナウイルス感染症対策分科会（第19回）資料）において、まずは医療従事者等への接種を行うこととされています。さらに、医療従事者等の具体的な範囲委託業者についても、「業務の特性として新型コロナウイルス感染症患者と頻りに接する場合には、医療機関の判断により対象とできる」とされており、ワクチンに期待できる新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化リスクの軽減効果は、医療提供体制の確保のために重要であるとされています。ご存知のように CRC は医療機関において、常に、多数の患者様と接しており、新型コロナに感染している可能性のある不特定多数の方々と接しております。

治験を含む臨床試験にご参加又は参加予定の患者様（被験者様）には、通常医療のみならず臨床試験に特有の医療も提供されており、CRC 等もワクチン優先接種の対象者であると考えられます。

既に厚生労働省よりワクチン優先接種の対象人数等の調査が都道府県、市区町村、基本型接種施設、連携型接種施設、各医療機関等を通じて行われています。必要に応じて、本文書にて SMO 所属 CRC も対象となり得る旨のご説明の一助にして頂ければと存じます。

謹白